

2023年2月11日

関係各位

社会福祉法人 中心会
理事長 浦野 正男
相模原南児童ホーム
所長 曾我 幸央

相模原南児童ホームの
新型コロナウイルス感染事例について
(36の⑤)

昨10日(金)付の既報(36の④)でお知らせした職員5名を対象とするPCR検査については、本11日(土)に全5名の陰性が確認されました。

しかし、昨10日(金)夜(既報(36の④)をお知らせした後)、児童(乳児)1名(以下、「児童I」といいます。)が発熱、抗原定性検査を行ない陽性が確認されました。児童H又はそれ以前の感染者からの伝播と推定されます。

これを受けて、同10日(金)夜から本11日(土)朝にかけて、児童Iからの感染伝播が懸念される児童3名、職員5名、計8名の抗原定性検査を行ないましたが、全8名の陰性を確認しました。

職員5名については続けて本11日(土)朝、さらにPCR検査を行なうために検体(唾液)を採取して検査機関へ持参、本11日(土)のうちに全5名の陰性を確認しました。

児童3名については検体(唾液)採取が困難なため、PCR検査は行ないませんが、現時点(11日(土)18時)で健康状態に特段の変調は見られません。

抗原定性検査はPCR検査に比べると精度が低いため、決して楽観はできませんが、更なる感染者の発生等の特段の情勢変化がなければ、これ以後のご報告は省略します。

なお、本件感染事例(36、36の②……36の⑤)と別報の感染事例(34、34の②……34の⑥)とは区域が遮断されていることから、相互の干渉はないものと考えられます。

皆様には度々ご心配をおかけして申し訳なく存じますが、今後も感染防止に最善を尽くしますので、ご理解、ご協力をお願いします。